

赤白



貝塚市立二色小学校 校長室だより第40号

H23年9月29日発行

貝塚市二色1-3-1

★22日～30日までは秋の交通安全週間です。立ち当番などのご協力、ありがとうございます。自転車の乗り方など、特にご家庭でも声かけをお願いします。

★10/2『二色フェスタ』へのご協力、ありがとうございます。楽しくけがなくみんなで成功させましょう。

そうじをすることで…その2



きょうは久しぶりに委員会があって、久しぶりに学校をそうじしました。そのそうじしたところは、理科室のベランダでした。

そのベランダは、とても土はっばでいっぱい、最初は、「じかんかかるやろな～」と思ったけど、やってみると、すごくきれいになったし、じかんもそんなにかからなくてよかったです。次は、「校長室をしたいな～」と、とっても思いました。

左の作文は、昨年度の環境美化委員さんが書いたもの(下線:山本)です。掃除する前は、「え！？こんなきたないところを！？大変やなあー」と、思います。が、やってみると、きれいになるのがおもしろくて、「なんやー、やってみたらできたなー」から、「次は、〇〇やりたい！」と、なるのが不思議なところです。

また、そんな時、「いやあ、なんてきれいになったん！！気持ちいいなあ！」なんて、誰かに言われたら、ますますうれしくなったりします。掃除して→掃除の場所がきれいになって→気持ちよくなって→ほめられて「やってよかった」「喜ばれた」と感じ→なんだかすがすがしくなる、これが掃除の魔法でしょうか。

家庭での掃除と違って、学校での掃除は、その上に更に「きれいにするもの＝公共物」であることから、**公共物を大切に**する心も育てることになります。

- ・汁で汚れた給食台を拭く→明日もみんなが安心して給食の配膳ができる
- ・汚れたトイレを我慢して磨く→そのままだと誰も嫌がって使わなくなるから
- ・汚れた窓を拭く→よそから来る人が気持ちがよいように
- ・箒(ほうき) やちりとりは面倒でも引っかけて片付けよう→次に使う人が取りやすいように
- ・机をきれいに拭こう→教科書やノートが汚れないようにしよう 等々



自分＝友達＝低学年＝次につかう人＝お客さん…等、**学校に関わる沢山の人たちにつながっていく作業(公共を意識して学ぶ作業)**が掃除ということになりますね。

さて、こうした活動は、学校だけではうまくいきません。家庭で、自分のできる掃除をしている子は、やっぱり学校でもよく掃除をしてくれます。高学年では、なんとなく“まじめにするのがかっこ悪い”と感じる自分も育つ時期ですが、そこを超えてやるのが高学年の良さであり、“まじめ(そうじ)はかっこ悪くない”と考え直させることが大切です。

ところで、毎日はいている上靴を毎週洗っていますか？お子さんの上靴を見たことがありますか？

教室を廻っていると、ひどく汚れた上靴をはいている子を見かけます。また、コッペパン状態で、かかどを踏み踏み、はいている子も結構多いのは、残念です。一生懸命自分で洗うと、かかとも踏めなくなるのではないのでしょうか。

今週末は、上ぐつを自分で洗ってみましょう